

活動事例

産業界支援

笠間焼の海外への販路拡大支援

支援先

株式会社ワポーター, 有限会社常陸窯いそべ陶苑, 有限会社大津晃窯, 松佐陶工房



図1 ブルックリン「KASAMA」展

【内容】

茨城県処遇改善プロセス事業において、笠間焼を世界のビジネスの中心であるニューヨークで販路拡大を行うため、笠間焼に関する情報提供や商品開発へのアドバイスを行いました。当事業コンセプトは、①ギャラリー街に位置する Onishi Gallery に於いて、伝統工芸の技術を使った芸術性の高い陶器を展示する(図1), ②住宅地区に位置する J+B Design に於いて、アメリカ人の生活環境に合ったデザイン性の高い陶器を販売することです。(図2)



図2 J+B Design 展

海外取引においては、「どこが違うのか、なぜ違うのか」といった差別化要因が重要なため、歴史や製法のみならず、文化や民族、風俗習慣、価値意識等も情報提供及び開発支援しました。

「KASAMA」展(7/14~18, 於:ブルックリン)では、メディア11社、来場者約600名があり、美術館キュレーターや美術品バイヤーが訪れ、釉薬等の伝統技術や工芸品としての感性も評価されました。

基礎となった事業

平成26年度 茨城県処遇改善プロセス事業

現在の担当部門

窯業指導所 所 長 佐藤 茂 TEL:0296-72-0316

活動事例

産業界支援

デザイナーとのコラボによる笠間焼の普及啓発活動

支援先

公益社団法人 日本グラフィックデザイナー協会茨城地区, 東京ミッドタウン

【内容】

笠間焼認知度向上のため、2015/10/16~11/4 東京ミッドタウン主催のデザインイベント「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH2015」において、デザイナーとのコラボによる普及啓発活動を行いました。

活動の企画コンセプト

- 1) 協会は、グラフィックデザインの質的向上とする
- 2) 当所は、笠間焼のシンボルとして図1に示す作品を制作する
- 3) 両者は、新たな発想やクリエイティブ表現に活用する

以上の企画コンセプトの基、伝統技法であるロウ抜きを用いて、当所で試作した湯たんぼや鶏の水飲みを国内外で活躍するグラフィックデザイナーがグラフィックデザイン画を表現した作品7点を展示紹介しました。



図1 作品の一例
上:湯たんぼ
下:鶏の水飲み



図2 展示風景
(湯たんぼ)

来場者は、デザインに深く関心のある方から初めてデザインに触れた方まで、幅広い層が楽しめる展示イベントとなりました(図2)。デザインと伝統工芸が融合した造形が、笠間焼の認知度向上の一助になることを期待します。

基礎となった事業

平成27年度 試験研究指導費(技術相談)

現在の担当部門

窯業指導所 所 長 佐藤 茂 TEL:0296-72-0316
工芸技術部門 嘱 託 佐藤 剛

